



プロバスだより

第339号

2024年2月8日 発行
編集・発行 情報委員会

東京八王子プロバスクラブ
創立 1995年10月18日
2023～2024年度 テーマ

楽しみながら学び合い、支え合おう

第339回例会

日時 令和6年1月11日(木) 12:00～12:35
場所 八王子エルシィ
出席者 33名 出席率 78%
(会員総数 46名、欠席10名、休会4名)

1. 開会

戸田例会委員

第339回例会を開催します。本日の出席者数は33名、出席率は76パーセントです。

2. 会長挨拶

持田会長

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。



今年の正月元旦は本当に驚きました。ここで改めて、能登半島地震で亡くなられた方にお悔やみを申し上げます。また、被災されて大変な不自由をされている方々にはお見舞いを申し上げます。雨や雪の降る中で、救済を受けられず、困窮している姿をニュースで見るのは堪え難いことです。

地震災害につきましての報告をさせていただきます。1月4日の理事会にて義援金の検討をすべきでないかとの提案がありました。その後、審議を重ね昨日理事会の同意が得られましたので、当クラブとして義援金を拠出することに決まりました。義援金の扱いは二つの方法を取ります。一つは当クラブのハッピーコイン勘定から5万円を拠出します。二つ目は会員皆様からの義援金を募る方法です。双方を合わせて、総額をしかるべき機関(新聞社など)へ払い込むことにしたいと思います。

そのため、本日すでに義援金BOXを準備いたしました。是非、皆様のご協力を頂きたいと思ひます。

過去には2011年の東日本大震災、2018年の西日本豪雨災害において義援金を払いました。以上が地震関連の報告です。

更に正月2日には日本航空の旅客機が海上保安庁の救援機と衝突炎上と言うショッキングなニュースがありました。これが日本の事故かと疑いたくなりました。こんな新年の幕開けに今年はどうなるのか心配になります。

八王子プロバスクラブにおきましては前半期を無事終えて、今月より後半期に入ります。そこで、簡単に前半期の振り返りをしてみます。

- ・例会委員会は会員の卓話の復活で会員相互の理解が深まったと思います。また、同好会報告も実施して、クラブの活動内容も紹介でき仲間を増やす良い機会になっていると思います。

- ・情報委員会は少数精鋭にて運営してもらっておりますが、ホームページの改善などにも取り組んでもらっております。また、会則等の改訂については、大変な努力を頂きました。おかげで、臨時総会で会則の改訂が承認されました。

- ・会員研修委員会は新入会員との懇親会開催や野外研修と言える近場での活動機会を開催して効果をあげました。

- ・地域奉仕委員会は、今期最大のイベントである「合唱祭」に向けて入念な検討を重ね、準備万端あとは当日の皆さんの担当任務を全うして頂くだけとなっております。

- ・「宇宙の学校」はすべての日程を予定通り終了できました。八王子学園と東京高専には大変お世話になりました。

- ・交流担当・全日本プロバス関係では、全国プロバスクラブへの訪問を精力的に行い、交流、親睦、理解活動など大きな成果をあげております。

また、八王子プロバスの存在感を高めていただくことにもなっております。

後半は、とにかく3月の「合唱祭」を成功させるべく最大の努力を注力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

3. ハッピーコイン披露

塚本副会長からハッピーコイン 24 件の披露がありました。(3~4 ページに掲載)

4. バースデーカードの贈呈

1月生まれの河合会員、土屋会員、佐々木(秀)会員、大野会員、河西会員、下山会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。

下山会員は米寿を迎えられました。



写真は左から、大野会員、土屋会員、河西会員、下山会員と会長

5. 全日本プロバス協議会 一瀬幹事

昨年末から全日本プロバス協議会の 2023 年度分の賛助会員募集を開始しています。飯田会員が全日本の会計として担当しています。現在のところ 20 名超の方々から協賛金いただいています。昨年は 28 名でした。本年度も是非ご支援方よろしくお願いいたします。

6. プロバス賛歌

起立・斉唱

7. 閉会 塚本副会長

本日の例会は全会員 46 名中 33 名の参加でした。合唱祭に向かって会員に与えられた分担業務を遂行し、成功への道を皆さんで作らしましょう。お願いします。ハッピーコインは 24 名の方から頂き、シニア・ダンディーズの八王子市成人式での国家「君が代」、「八王子市歌」の合唱が好評であったことを伝

えるハッピーな声が多かったです。

今年1年よろしくお願いいたします。



12:35~16:00

1. 会長挨拶 持田会長

新年懇親会の開催は諸般の事情により開催を見合わせてきましたが、今回開催することが出来ました。

今回の新年懇親会の開催にあたり、八王子市郷土資料館学芸員の小林様をお迎えし、講演を頂くことにしました。

八王子市に住んでいても、八王子について知らないことが多く、この機会に学びたいと思います。

2. 新年特別卓話

戦国時代の八王子

八王子市郷土資料館 学芸員 小林 央 様

DVD の上映前に、北条氏の略系図の説明を受け、引き続き「戦国時代最後の山城 八王子城」が上映されました。上映時間 30 分ほどでした。

DVD の内容は、国史跡である八王子城の成立と滅亡を描いたものです。八王子城は、小田原に本拠を置いた小田原北条氏の三代目氏康の三男、北条氏照が築いた山城で、天正 10 年頃に築城が開始され、天正 15 年ころまでに滝山城から拠点を移したとされています。このような八王子城の成立と天正 18 年豊臣秀吉の関東制圧の一環で、天正 18 年、前田利家・上杉景勝軍に攻め立てられ落城したというのが、主たる内容でした。この時、城主氏照は小田原に牢城中で兄氏政と共に城下で切腹し北条氏は滅亡したと伝えられています。



上映終了後に、いくつかの質問が出ましたがここでは省力します。

最後に、小林学芸員がお持ちいただいた、八王子城御主殿の発掘調査で出土した遺物を多くの会員と一緒に鑑賞することが出来ました。

3. 懇親会

(1) クイズ

漢字の組み合わせでどう読むかのクイズに会場が盛り上がり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

塩澤会員



(2) ビンゴゲーム

なかなかリーチがかからないことにやきもきするなど楽しいゲームでした。

景品は会員各位から提供して頂いた物でした。

4. 閉会挨拶

新年特別卓話として「戦国時代の八王子」と題して八王子市郷土資料館の方から八王子の歴史を学ぶ時間を持ちました。市民として市の歴史を少しでも知ろうとの講話でした。その後、老いたる頭脳の活性化を図るべくユーモアあるユニークなクイズで全員の頭脳活動活性化の時間を設け喜びや感心や笑いを。さらに、ビンゴゲームで童心に帰って一喜一憂し、賞品を頂き満悦の時間でした。至極満足でアカペラ独唱会も始まったのでした。最後はシニア・ダンディーズの八王子市歌にて終了し、八王子プロバスクラブの令和6年度の「心ひとつに」のスローガン通りのスタートを切りました。

<能登半島地震義援金のご報告>

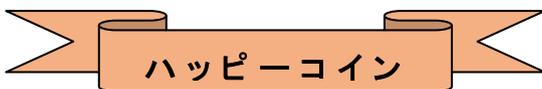
ハッピーコイン、会員の義援金、俳句同好会の拠出を合わせて105,000円を朝日新聞厚生文化事業団へ1月15日に払い込みました。



内訳は以下の通りです。

ハッピーコインから50,000円、会員からの義援金48,500円、俳句同好会からの寄付6,500円で合計105,000円です。

皆さまの暖かいご協力に厚く御礼申し上げます。



◆エクアドルから連れ帰った我が家の愛犬トイプードルのテディ君が満16才になりました。老々介護で大変ですが本年も頑張ります。 山口 三郎

◆新年おめでとうございます。会長、幹事さんあと半年です。楽しんで下さい。 河西 成幸

◆能登半島地震の被害に心を痛めています。心からお見舞い申し上げます。 有泉 裕子

◆新年おめでとうございます。今年こそ、制限のない活動ができ、親睦を深める交流が出来る年であって欲しいと願っています。 内山 雅之

◆おだやかならぬ年明け、“暴れ辰”があばれまくっていますが、我がクラブは“おだやかな中から秘めた勢い”を大いに発揮できる年になりますよう！

田中 信昭

◆娘と孫が半年ぶりにアメリカからやってきました。いろいろ話が出来て幸せだった。 土井 俊玄

◆シニア・ダンディーズは1月8日「成人を祝う会」でJ:COMホール一杯の新成人を前に、君が代・八王子市歌を歌いました。とても感動しました。メンバー一同ハッピーなお正月です。 立川富美代

◆明けましておめでとうございます。2024年も「宇宙の学校」で子どもたちの笑顔があふれますように。

下山 邦夫

◆新年おめでとうございます。おみくじ中吉でした。今年が良い年でしょう。 杉田 信夫

◆1月8日の成人の日、シニア・ダンディーズの一員として私はJ:COMホールで「君が代」と「市歌」を唄いました。若い成人5,000人の前で歌う晴れの舞台に立てたことに大Happyです。人生最初で最後と思い声を張り上げて唄えました！Happyな日となりました。 持田 律三

◆正月元日の能登半島地震には目が醒めました。おとそ気分も一変、ニュースを喰い入るように見続けました。私は、高幡不動の護摩祈祷が4時から始まったばかりの時に揺れました。お堂のものがゆらゆら揺れて皆上を仰いでザワザワとなりました。良い年になることを祈ります。 持田 律三

◆1月8日、「20才を祝う会」で思い切り声を張り上げ、国歌と市歌を歌いました。若人の前で歌うことは、本当に快感でした。 馬場 征彦

◆明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。 戸田 弘文

◆令和6年明けましておめでとうございます。それにしても、能登半島地震の大災害には心が痛みます。

杉山 友一

◆全日本プロバス協議会からお願いです。まだ賛助金をおさめてない方で賛助金を出される方は飯田迄お願いします。 飯田富美子

◆息子一家5人が1月1日からインフルエンザ。1月8日にやっと開放されお正月がきました。今年のインフルエンザは感染力が強く、注意が必要との事です。 飯田富美子

◆八王子の成人式に君が代と市歌を歌唱するシニア・ダンディーズの写真撮影の手伝いの名目で現場に立ち会えましたが、すばらしい歌唱で八王子の若人に大きな印象を与えました。すばらしい！！ 一瀬 明

◆正月早々能登の大地震や羽田の事故などアンハッピーな事象が続いています。はやく断ち切って反転攻勢を！！ 一瀬 明

◆元日早々の北陸の地震に心が痛みます。我が家は今年は何れの年令で私が卒寿、家内が米寿のダブル寿です。あと2年頑張って満年令でダブる寿を祝おうと話合っています 岡部 治

◆J:COM ホールで行われた「二十歳を祝う会」で、これからの時代を担う若者にエールを送り、盛大な拍手を載しました。シニア・ダンディーズを通して東京八王子プロバスクラブを若干でも認知してもらおう機会となり、意義があったのではと思っています。 岩島 寛

◆新年とりあえずワンコイン。 野口 浩平

◆明けましておめでとうございます。昨年12月に全国高等学校ウインターカップバスケット大会がありました。東京では約300校参加し東京代表として2校が全国大会に参加しました。八王子学園は東京1位で参加、全国より64校出場八王子学園は3回戦でやぶれ、ベスト16で終わりました。その時の相手は静岡代表藤枝明誠で、全国3位でした。TVで全国放送しておりましたのでご覧になられた方もいたことと思います。 塚本 吉紀

◆小6の孫に五目並べで連敗しました。 橋本 鋼二

◆近所の丘を歩き、雪をかぶった富士山の写真をとりました。 橋本 鋼二

シニア・ダンディーズの新年事業

<令和6年八王子市「二十歳を祝う会」出演>

レポーター 杉山 友一

能登半島地震大災害のニュースで年が明けた令和6年ではありますが、そのことに充分思いを致しつつも、今年の八王子市二十歳を祝う会は1月8日、J:COM ホール八王子で開催されました（八王子市・八王子市教育委員会・八王子市二十歳を祝う会実行委員会が主催）。そしてこの意義深い行事で、二十歳となった若者たちを祝い、励ますという趣旨で、大変名誉なことに、平均年齢85歳のシニア・ダンディーズの歌声が選ばれたのです。

今年の八王子市の二十歳は7,700人余で、当日会場は午前、午後の二部制で入場許可が出されていました。晴れ着に身を飾った若者たちで埋め尽くされた広い会場は、日頃高齢者間交流に馴染んだシニア・ダンディーズの面々にとっては異次元世界の様



態で、改めて二十歳の生気に感激を覚えた次第です。式典は開会の辞に始まり、早速シニア・ダンディーズの紹介です。

グレーの蝶ネクタイで黒正装の平均年齢85歳のアナウンスで面々が舞台に登場すると、会場からウオーとばかりにどよめきが起こりました。プログラムは、初めに会場指揮者（畑野かん奈ピアニストのご主人）のタクトに従いシニア・ダンディーズの歌声がリードして会場全体で国歌斉唱、続いて我々だけで八王子市歌（北原白秋作詞・山田耕筰作曲・昭和11年制作）を二部合唱でお届けしました。

お陰様で会場の雰囲気は一気に高揚、大きな拍手に包まれて終曲です。凡そ2,000人の若者たちに、しかも午前、午後と二回も歌を届ける楽しさ、快感、図らずも新年の幕開けに若者たちにエールを送る、そんなお役を頂いた我々超高齢者の側こそ寿命がまた少し伸びたのではないかと思われまます。なお、当



日を迎えるために長い間準備を担った団長の立川会員のご労苦は、この際注記しておきたいと思ひます。



「君が代」に続き「八王子市歌」を歌うシニア・ダンディーズの皆さん

さて、そのシニア・ダンディーズですが、当団は2006年に立川会員のお声掛けで「はにかみおじさんコーラス」として発足し、2010年、改めてシニア・ダンディーズ（立川団長）が成立、以後毎週月曜日を練習日と定めて今日まで活動を継続してきた次第です。合唱団は2013年11月、八王子市議会議場での「議場コンサート」への出演をきっかけに、地域奉仕活動としての出演機会を多く持つようになりました。クリエイトホール、いちようホール（小ホール・大ホール）、J:COM ホール八王子と出演の機会を拓けて今日に至っています。

毎週練習日の指導者はご存じの通り、NHK 合唱コンクール小学校の部全国優勝八連覇（日野市立小）の実績を持つピアニストの畑野かん奈さんを軸に、指揮者としてご主人（国立音大卒）が応援参加、ときに田中三佐代ソプラノプロの応援も入り教授陣は兎に角一流なのです。



本番前の畑野かん奈さん、立川団長とシニア・ダンディーズの皆さん

そんなシニア・ダンディーズですが、早いもので今年には創立15周年の節目にあたります。シニアの看板もグランドシニアを越えてゴールドシニアの遙か峠越えに至りました。この先プロバス老人衆の歌声は果たして何処に向かうやら……？ それでも時代の大看板は人生100年時代です。

戯笑歌（ぎしょうか）

皆さんご存知のことと思いますが、万葉集は全て漢字で表記されています。

日本語を表現するために、漢字の「音」を借用して用いられた文字が万葉仮名と呼ばれております。また、「音」だけでなく「訓」も使われています。

詳しいことは分かりませんが、万葉仮名の知識がないと万葉集の原本を読むことは難しいようです。でも、我々の使っている現代語に訳した書籍も発売されていますので、そちらを使用すれば、わざわざ万葉仮名を理解しなくても不自由はしません。

「原本 万葉集」のページを開きましたが、漢字の羅列であり一部は何とか読めても通して読むことは不可能でした。

先人達はこの万葉仮名と、どう取り組んだかを紹介する書籍を読み、改めて万葉仮名に興味を持ちました。

調べてみると万葉集には、恋の歌、四季の歌、人の死を悼む歌などのほかに、宴席に集まる人々が大笑いの中に楽しんだような滑稽な作品もあります。それは万葉集巻十六に記載されています。

この巻十六の重要性を積極的に論じたのは正岡子規だと言われています。

幾つかを紹介してみます。

万葉集巻十六の三八四〇番（原文）

池田朝臣嗤大神朝臣奥守歌一首

「寺々乃 女餓鬼申久 大神乃 男餓鬼被給而 其子将播」

万葉集巻十六の三八四一番（原文）

大神朝臣奥守報嗤歌一首

「佛造 真朱不足者 水停 池田乃阿曾我 鼻上乎穿礼」

一部は読めても通しては読めず、このままでは理解できません。先人達が苦勞して読んだのは次の通りです。

三八四〇番

池田朝臣が、大神朝臣奥守をからかった歌一首

「寺々の 女餓鬼申さく 大神の 男餓鬼賜りて その子生まはむ」

寺々の女餓鬼どもが申すには、大神の男餓鬼をい

ただいて、その子を生子散らしたいとのことだよ。

(痩せている大神奥守をからかった歌です。)

これに対し三八四一番は

大神朝臣奥守が答えて、池田朝臣をからかった歌

「仏造る ^{そほ}ま朱足らずは 水溜まる 池田の朝臣が
鼻の上を掘れ」

仏を造るのに必要な朱砂が足りなかったら、水溜まる池ではないが、池田の朝臣の鼻の上を掘れよ。

(赤鼻の池田朝臣をからかった歌です。)

「ま」は接頭語。「朱」は赤色の原料とされた赤土。

仏像には銅造や木造のほかに泥をこねて整形した塑造、漆で麻布を貼り重ねて作った乾漆像があり、いずれも青や赤、金色などに塗られることが常であり、中でも赤が貴重品でした。

このように、万葉集卷十六には、上記のような人の容姿などをあざけり、はやしたりするのは、今日の道徳では難しく非難されそうなことですが、それを無邪気に且つ陽気に楽しんでいた様子が窺えます。

古今集以降には、このような戯れの歌は影を潜めてしまっています。

最後にもう二首紹介します。

万葉集卷十六 三八四二番 (原文)

平群朝臣嗤歌一首

「小兒等 草者勿苽 八穂蓼乎 穂積乃阿曾吾 腋草
乎可礼」

子ども 草はな刈りそ 八穂蓼を 穂積の朝臣が
腋草を刈れ

子どもたちよ。草は刈らないでいいよ。それよりも穂の多い蓼ではないが、穂積の朝臣の腋の草をかれよ。(よほど効率がよいと思うよ)

これに対して

万葉集卷十六 三八四二番 (原文)

穂積朝臣和歌一首

「何所曾 真朱穿岳 菰壘 平群乃阿曾我 鼻上乎穿
礼」

いづくにそ ま朱掘る岡 菰壘平群の朝臣が 鼻の上を掘れ

ま朱を掘る岡はどこだ。何も探しまわることはない。菰壘平群朝臣の鼻の上を掘れば良さ。

(彼の鼻の上は、まさに丹生だもの)

(雅)

俳句同好会便り

私の一句 (一月の句会から)

河合 和郎

新年の初句会は新しい一年に対する期待や願いを込めた作品が多くなる。残念ながら今年も元日早々大きな地震災害に見舞われてしまったが、願わくはこの一年、穏やかな一年であって欲しい。

ババ引いてアッと声飲む炬燵かな 田中 信昭

正月に家族で炬燵を囲みトランプゲームを楽しむ。勝った者にはお菓子の景品が。そんな懐かしい一家団欒。最近あまり見られなくなった。

手の届く平和がよろし初みくじ 池田ときえ

世界平和も地球の自然環境も大切なこと。でも日常の手の届く平穏が何よりも大事と訴える一句。中七の願いが実現しますように。

地震の火事帰る所が燃えている 下山 邦夫

輪島の朝市通りは地震の火災で焼失した。あの懐かしい婆たちの頬かむり姿ももう見られない。一日も早い復興を祈りたい。

恋人が一つのマフラー共にかけ 野口 浩平

仲睦まじい恋人同士の様子を一句に。作者は青春の日々を思い出して、自分の若かりし日の姿を重ねているのかもしれない。

美しい句を願いつつ日記買う 飯田富美子

「美しい句」は俳句に親しむ誰しもが望むこと。今年も日々の生活の中から、まぶしく美しい作品が生まれることを期待したい。

成人式目を見張りたる君の影 馬場 征彦

誰しもが経験する青春時代の思い出を一句に。成人式の晴れ姿に改めてあこがれを強くした。なお、成り行きはどうなったのかな。

平らかな日々を祈らむ初日の出 河合 和郎

内外共に穏やかな一年であって欲しいと祈った。家族の健康だけでもいい。手の届く幸せを。

編集後記

シニア・ダンディーズが八王子市の成人式で歌を披露。その記事を掲載しましたので、頁数がふえました。 情報 丸山

